

小豆・黒大豆の省力機械化栽培技術（有心部分耕播種）

増産が求められている府内産小豆・黒大豆の栽培面積の拡大を支援するため、省力機械化栽培技術の開発試験に取り組んでいます。

農総研独自に考案した播種方法である「有心部分耕播種」により7月5日に黒大豆、7月20日及び30日に小豆を播種しました。梅雨明けが遅れて、一般ほ場では湿害が懸念される条件でしたが、黒大豆で77%、小豆（20日播種）で81%の発芽率を確保することができました。

今後は、中耕ロータを使用した省力中耕作業、コンバインやビーンハーベスタを用いた機械収穫法等について検討していきます。



黒大豆の播種作業（7月5日）

小豆の発芽状況（7月27日）